

## 令和7年度 第3回 篠原小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年12月3日（水） 13時15分～15時10分
- 2 開催場所 篠原小学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木 直樹、脇本 和義、辻村 栄子、石津 正貴、佐野 みなみ、寺田 将人、野澤 要子
- 4 欠席委員 森下 晃司、山本 学
- 5 オブザーバー 長谷川 光洋（篠原協働センター）
- 6 学 校 今田 徹（校長）、藤井 早苗（教頭）、林 裕一（主幹）、岩上 直人（CS担当教職員）
- 7 教育委員会 牧野 知子（浜松市教育委員会教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 中島 和美
- 10 議長の選出  
議長については、第1回会議において会長（鈴木直樹委員）が今年度の議長を務めることが決定していることから、全員異議なくこれを承認した。

### 11 協議事項

- (1) 授業参観後の感想、意見
- (2) 学校支援活動について
- (3) 来年度の教育活動について
- (4) その他（学校運営協議会のあり方について）

### 12 会議記録

司会の藤井から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 授業参観後の感想、意見
  - ・先生が一方的に話をするのではなく、子供たちが共同的に学んでいる様子が見られた。（佐野委員）
  - ・高学年の授業を参観した。とても集中して授業を受けている様子に感心した。先生方の今までの指導の賜物だと思う。（野澤委員）
  - ・高学年では学習内容が難しくなっていて、個々の対応が大切になると感じた。（寺田委員）
  - ・高学年は皆、個性的だと感じた。学校が楽しいところであってほしい。（脇本委員）
  - ・縄跳びの様子を見て、改めて低学年からの積み重ねの大切さを感じた。（辻村委員）
  - ・先生方ははっきりと指示を言葉にでき、自信を持って子供たちに接している。また、発達学級が落ち着いていて、通常学級にも良い影響を与えられていると感じた。（直樹委員）
  - ・子供同士で仲良く教え合っていて、算数を嫌いにならない雰囲気が良かった。（石津委員）
  - ・教えることで自分にも力が付くので、教え合うのはよいやり方だと思う。（辻村委員）
  - ・ブログに職員研修の様子が載っていたが、先生方も学んでいるということを発信するのは

良いと思う。（石津委員）

- ・先生方も研修で力をつける体制を取っており、若い先生もとても真面目に取り組んでいる。また不登校児童については、週に1回程度担任が授業を行ったり、県のバーチャル教室等を利用したりして、児童が完全に引きこもってしまわないように対応している。（校長）

（2）学校支援活動について

- ・多くの人に様々なボランティア活動に参加していただけた。今後は、課題となっている旗振り活動もCSのボランティア活動としてやってみることにした。まずボランティアの方で旗振り当番を決めて、空いている枠を保護者に埋めてもらう形にした。場所によってはボランティアだけで埋まる場所も出てきた。まずは多くの方にボランティアに登録してもらうため、チラシを作成して掲示した。今後も無理なく楽しく行える範囲で活動していくらと思っているので、皆さんからも是非勧めていただきたい。（石津委員）
- ・遠鉄ストア前の横断歩道は交番の方が立ってくれることになった。（野澤委員）

（3）来年度の教育活動について

校長から来年度のグランドデザインについての説明があった。学校教育目標は引き続き「心と心が響き合う学校」とし、キーワードの「自立と共生」を低学年の子供たちにも分かりやすい平易な言葉「やってみよう」「ありがとう」に置き換えた。目指す子供像の「にこにこ」「きらきら」「ぐんぐん」など、既に浸透している言葉はそのまま残した。また、先生たちが重点的に頑張っている活動には具体的に焦点を当てていきたい。（校長）

- ・キーワードが子供にも分かりやすくて良い。（佐野委員・野澤委員・直樹委員）
- ・次回が承認になるので今年度のグランドデザインと比較して確認してほしい。（鈴木委員）

（4）その他（学校運営協議会のあり方について）

- ・時代が変化している中で、学校や教職員も変わっていかないといけない。学校運営協議会も、学校支援活動については非常に成果が表れていて評価できるが、協議会のあり方は原点に立ち返るべきではないか。会議で授業の感想を言って終わりではなく、学校ともっと情報を共有し、意見したり協力し合えたりする関係を目指したい。（脇本委員）
- ・自分たちが学校と地域や保護者とのつなぎ役としての役割を担うためにも、情報を共有しておくことは大切。（石津委員）
- ・学校運営協議会が本校のために前向きに対応していただけることに感謝をしている。緊急対応の場合には、電話や連絡網、臨時の学校運営協議会等で協力をお願いしたい。（校長）

その他報告事項等

- （1）教頭から、学校評価項目および自己評価表の説明があった。
- （2）司会の教頭から、次回会議は、令和8年2月4日（水）午前10時00分から会議室で開催する旨の報告があった。
- （3）教頭から、次回学校運営協議会の内容（学校評価の結果報告・学校支援活動についての報告・学校運営協議会の自己評価）についての確認を行った。